

---

第21報 平成23年7月15日

# 東日本大震災 災害復旧資材供給情報

財団法人 経済調査会

---

## 【コンクリート型枠用合板】

被災した荷揚げ港、倉庫等の被害も一部を残し復旧しつつあり、被災地域への供給体制も平常に戻ってきている。輸入品の入荷増が続くなか、需要は伸びておらず荷動きは鈍い。市中在庫には荷余り感が生じており、市況は弱含みで推移している。

## 【針葉樹 構造用合板】

被災地の製造工場は現在復旧作業中で、石巻の一部工場では、7月内をめどに部分的な生産・出荷を再開できる見通しとなっている。ただ、東北地区では厚物や長尺品、関東地区でも長尺品の品薄感はしばらく続く見通し。

## 【問い合わせ先】

財団法人 経済調査会

土木第一部・土木第二部

TEL 03-3543-1471

月刊「積算資料」掲載品（一般資材） 東日本大震災におけるメーカー等の被害状況および供給体制確認結果一覧

分類①	分類②	積算資料 掲載ページ	品名	メーカー及び協会	確認日	被害状況について	被災地域への供給体制	被災地域以外への供給体制	備考(価格動向・買占め状況等)
共通資材	型枠材	210 ～ 211	コンクリート 型枠用合板	販売店	7月13日	荷揚げ港、港頭倉庫 の被害は、一部を残し 復旧している。	平常通り。	平常通り。	需要が思うように伸びず、荷動きが鈍い 中、7月も輸入品の入荷増が続く見通しで、 市中在庫には荷余り感が生じている。市況 は弱含み推移。
建築資材	内外装材	572	針葉樹 構造用合板	販売店	7月13日	宮古、石巻、大船渡 など、製造工場が被災。 現在復旧作業中。 石巻の一部工場では、 月内をめどに部分的に 生産・出荷を再開できる 見通しとなっている。	仮設住宅建設向けの供給は、 十分に確保できている。これに伴 い、一般流通向けも回復に向かっ ているが、損壊住宅の修繕等で 必要な量の調達はいまだに難し い。	西日本エリアではほぼ平常通りに 戻ってきている。しかし、東日本エリア では一般流通向けで、まとまった量の 確保は難しい状況が続いている。	被災工場の一部は7月より順次再開でき る見通しだが、東北エリアでは厚物や長尺 品、関東エリアでも長尺品の品薄感は一 ぱら続きそう。市況は横ばいで推移。
共通資材	木材	226 ～ 229	仮設・ 土木用 木材	販売店	7月13日	特になし。	仮設住宅向け需要が一巡し、ほ ぼ平常通り。	平常通り。	特になし。
共通資材	木材	230 ～ 237	一般 建築用 木材	販売店	7月13日		平常通り。	平常通り。	特になし。